



駿河湾フェリー乗船者限定
御朱印めもり

清見寺 限定御朱印新登場!!

巨麓山 清見寺

朝鮮通信使も滞在した、約1300年の歴史を誇る名刹です。徳川家康公の幼少時、今川家の人質として駿府にいた際、清見寺住職が教育にあたるなど、諸々の因縁から徳川一門の帰依を受け、三葉葵の紋を許されました。御朱印の文字「けいよう」は朝鮮通信使の扁額から。日本、朝鮮両国がお互いを照らし合い、さらに輝きを増して光り輝く美しい世界が広がっていくという意味が込められています。



駿河湾フェリー

TEL 054-340-5223

<https://www.223-ferry.or.jp>

静岡市清水区日の出町10-80

受付時間 / 9:00~17:00(土日祝除く)

駿河湾フェリー

検索

当日の
運航状況



乗船証明
日付印

日付のないものは無効です
乗船日より1か月有効

清見寺
御朱印引換書

乗船時に必ず
スタンプをもらってください



家康公が愛したまち 静岡

駿河湾フェリー
御乗船者限定



乗船者記念御城印

御城印は「駿河湾フェリー」に乗船の際、下記に乗船証明印をもらい、駿府城公園にご来園の上、東御門・巽櫓、坤櫓、紅葉山庭園の各施設入場券販売窓口のいずれかに出すと、限定御城印をご購入いただけます。

※御城印発行料金：500円

※乗船証明日付印を、駿河湾フェリー券売窓口にて必ず乗船手続き時にもらってください。

開運

徳川家康公銅像



日本百名城
駿府城
限定御城印誕生

【駿府城の歴史】

今から650年ほど前の室町時代に今川範国（のりくに）が駿河国の守護に任ぜられ、その頃から駿府城周辺に今川氏の館があったと考えられています。

駿府周辺の五方国の大名となった徳川家康は、1585年から駿府城築城を始め、江戸幕府開府後に完成、駿府の町割りや安倍川の治水事業にも取り掛かりました。

家康はアジア諸国をはじめオランダ・スペイン・イギリスなどとの交易も行い、駿府城において外交にも着手しました。家康死去後は、二代将軍秀忠の息子・忠長（家光の弟）が城

主となりましたが、1631年に忠長が甲府に蟄居を命ぜられたあと、駿府城主は不在となり、幕末まで城代が置かれました。明治維新後は「保存が必要な城郭」に指定されたものの、荒廃したまま放置。一時日本軍が常駐する時期もありましたが、駿府城は静岡市が所有することとなりました。本丸・二ノ丸部分が「駿府公園」として整備されて以降、巽櫓・東御門・坤櫓も復元。2012年駿府城公園に改められたのちも、地元・静岡市民の憩いの場として親しまれています。

団体のお客さまは事前申し込みです！

○団体受付は必要事項をご記入し、乗船一週間前迄に「(一社)ふじさん駿河湾フェリー」までFAXにてお申し込みください。(FAX/054-340-5224) ※確認後にFAXにてご連絡します。
○お申し込み後の人数変更調整は後日行います。 ○御城印料は、駿府城公園各施設受付にてまとめてお納めください。



駿河湾フェリー

当日の運航状況



静岡市清水区日の出町10-80 マリンターミナル3F

お問い合わせ

054-340-5223 (企画営業部) 受付時間 9:00~17:00

FAX: 054-340-5224

https://www.223-ferry.or.jp

駿河湾フェリー 検索

乗船時に必ずスタンプをもらってください。
乗船証明
日付印
日付印の無いものは無効です。
御城印発行は、
乗船日より1ヶ月有効

乗船者
限定

駿府城
御城印引換書

令和 年 月 日